



### 3. 第2回住民意見聴取の結果

## ■ 住民意見聴取の概要

### 第2回住民意見聴取の方法

- ・須賀川は、流域面積が3km<sup>2</sup>と小さく、沿川の市街地は中流部のみであり、過去に甚大な浸水被害も発生していないことから、第1回住民意見聴取と同様に、藤江地区の方々へ直接意見を伺った。(自治会関係者)
- ・その他、須賀川沿川にお住まいの方の意見も補足するため、アンケート形式による意見聴取を実施した。



第2回住民意見聴取の状況

## ■ 住民意見聴取の結果

- ・現在の計画原案に概ね了承いただけた。
- ・環境に配慮した整備を重点に行ってほしい。
- ・須賀川では愛知用水ができて以降、利水としての利用は無い。利水に対する配慮はいらないのでないか。
- ・パンフレット印刷費だけでも結構するだろう。整備費として使ってもらいたい。
- ・2年前に町に桜並木の整備を要望している。
- ・堤防内に桜を植えることは可能か。
- ・蕨橋と新仏橋の間に人と自転車だけでも通れる橋がほしい。

## ■住民意見聴取(沿川住民)の結果②

### 問2 治水整備

治水整備の目標や内容については、流域の規模、河川沿川の状況を踏まえて、県内の他河川とのバランスを考えた上で、可能な限り被害を軽減させるために、概ね30年間で整備できる内容としています。

治水の整備の目標及び内容について、近いものをお選びください。

### アンケート結果

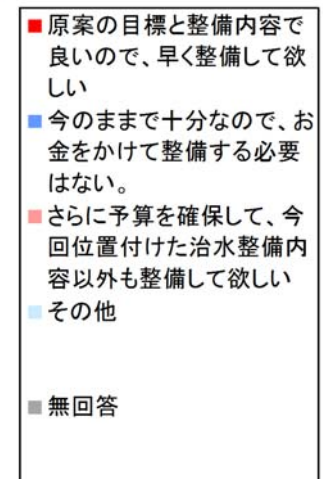
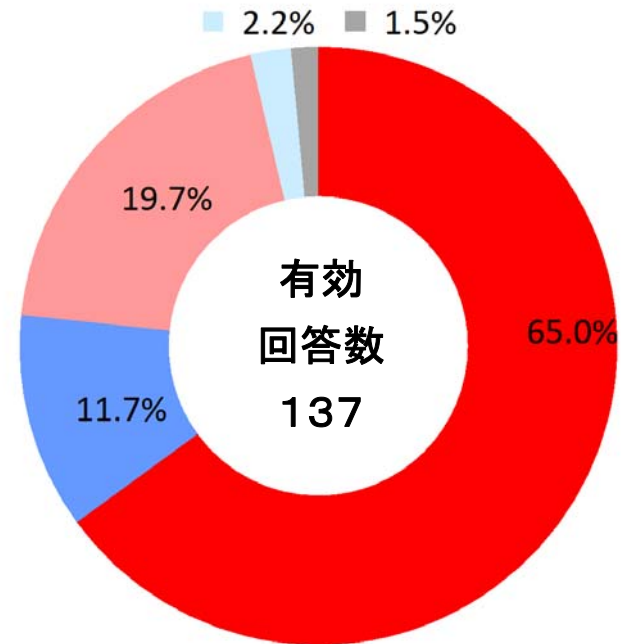
- ・「原案でいいので早く整備して欲しい。」と答えた人は65%

➡ アンケート結果から現在計画している治水対策を実施していくことについては、概ねご賛同いただけたと考える。

### その他意見

- ・ 30年かけて整備とあるが、近い将来の災害に対応できないのでは
- ・ 30年間の整備はゆっくりすぎる
- ・ 宅地内の雨水を須賀川へ流して床下浸水をなくしてほしい。
- ・ 河幅を拡げるのに限界がある
- ・ 橋の下を通る道路の整備

➡ 早期の整備、用地、道路利用に関する要望がある



## ■住民意見聴取(沿川住民)の結果②

### 問3 環境整備

「動植物の生息・生育環境の保全・再生」、「川と人とのふれあいの場の維持・形成」、「良好な景観の維持・形成」及び「水質の改善」に努めていくことを考えています。  
環境整備の目標及び内容について、近いものをお選びください。

### アンケート結果

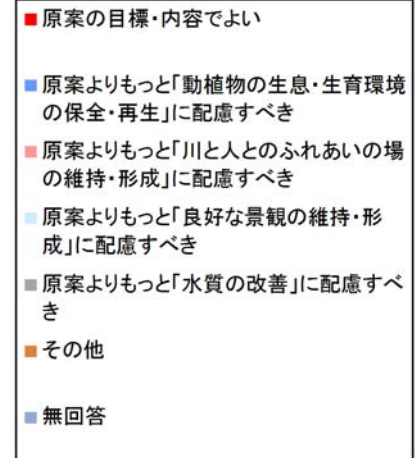
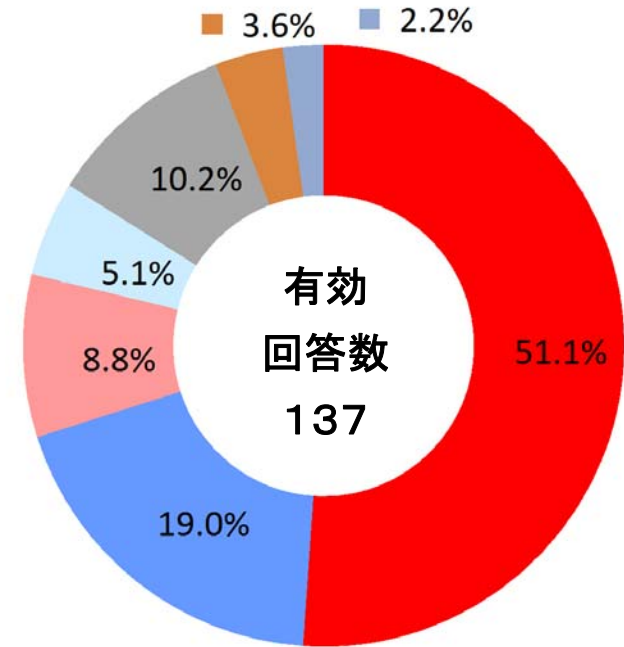
- ・「原案の目標、内容でよい。」と答えた人は約50%
- ・次に「動植物の生息・生育環境の保全・再生」が約20%

▶ アンケート結果から現在計画している環境整備を実施していくことについては、概ねご賛同いただけたと考える。  
動植物の生息・生育環境の保全・再生への期待が高い。

### その他意見

- ・ 毎年草刈りを等は行われているが堆積土砂をはやく(除去)してほしい。
- ・ こまめに草取り、土砂、ゴミの拾い上げをし、住民の関心も向けさせるようにするといいい。
- ・ ミドリ亀の駆除を早くしてほしい。

▶ 河川の維持管理、河川環境の保全に関する要望がある。



## ■住民意見聴取(沿川住民)の結果②

### 問4 地域活動

よい川づくりのため、地域の皆さんが様々な活動に参加、協働することが重要と考えています。  
参加、協力してもいいと思う事をお選びください。

### アンケート結果

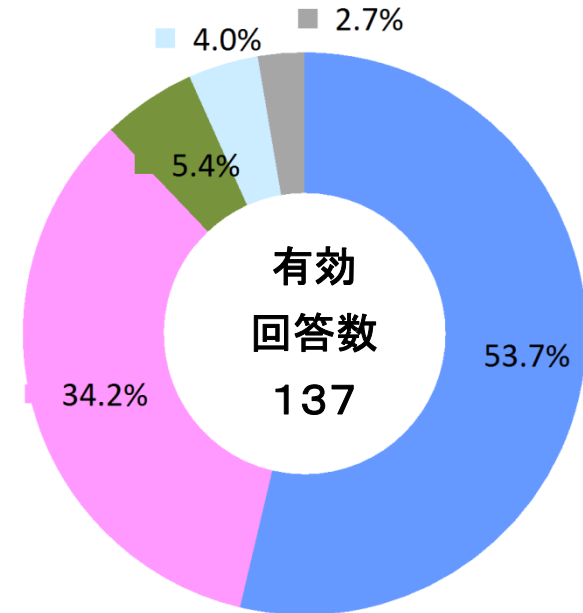
- ・「河川美化のためのゴミ拾いや草刈り等の活動」と答えた人は約50%
- ・次に「大雨の際の避難活動等の地域の防災に関する取組」答えた人は約35%

ほとんどの方が地域活動に参加、協力の意志があり、地域住民が参加できる機会づくりが必要と考える。

### その他意見

- ・地域に密着した川づくりをと言う事なら、川に入れる箇所(階段など)を沢山作ってほしい。
- ・子供たちが生き物をつかまえたりする場所があまりないので、学べる川になったらいい。
- ・良い川づくりのための意見交換の場に参加したい。

川とふれあえる場の整備、地域住民が参加できる活動などの要望が多い



- 河川美化のためのゴミ拾いや草刈り等の活動
- 大雨の際の避難活動等の地域の防災に関する取組み
- 参加、協力したくない
- その他
- 無回答

## ■住民意見聴取に関する計画書への記載

### 2.5河川環境の整備と保全

【動植物の良好な生息・生育・繁殖環境の保全・再生】

外来種の必要に応じた対策

【川と人とのふれあいの場の維持・形成】

川に親しみ、ふれあい活動の場にするため、地域住民の利用状況や要望等を踏まえ、関係機関、地元住民と連携して遊歩道や親水施設、階段、環境学習の場等の整備に努める。

また、これらの場が活用し易く、住民同士のコミュニケーションの場となるよう地域参加による維持管理を求めていく。

### 3.1河川工事の目的、種類及び、施行の場所並びに当該工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要

治水整備にあたっては、早期実施に努める

#### 3.2.2河川の維持の種類及び施行の場所

(1)河道の維持

河川を定期的に巡視し、治水上の支障となる堆積土砂の除去や除草等の適切な対策に努める。また、地域住民と連携を図り、河川美化の推進に努める。

(2)河川管理施設の維持

必要に応じて補強や老朽化対策に努める。

#### 3.2.3河川情報の提供

(2)防災情報の提供

関係機関や地域住民と連携を図り、地域防災力の向上に努める。